

仕様書

平成 30 年 11 月 1 日

1. 工事名称

2. 社会福祉法人城山楽寿会 特別養護老人ホーム ライフホーム城山
プライバシー保護のための改修

2. 工事場所

神奈川県相模原市緑区小倉 1620

3. 工事期間

平成 31 年 1 月 15 日から平成 31 年 3 月 10 日まで

4. 工事内容：4 床室 9 室、2 床室 11 室

- ・既存カーテンレール撤去・廃棄及びカーテンレール撤去後の補修工事
- ・既存カーテンレールの寸法調整・不要部材廃棄及び寸法調整後の補修工事
- ・既存家具解体・撤去・廃棄
- ・既存家具撤去後の壁・天井の補修
- ・天井点検口新設工事（施工上必要数設置）
- ・フレーム工事
- ・移動式間仕切工事
- ・収納付間仕切設置工事
- ・間仕切設置工事

5. 仕様書の適用・疑義

工事施工は、設計図書により監督職員の指示に基づき厳正に施工すること。なお、設計図書の内容に誤謬のある場合又は疑問を生じた場合、若しくは明記のない場合は、直ちに監督職員と協議のうえその指示に基づき施工すること。

6. その他

(1) 工事は、原則として工程表に則り平日・土曜日に行うこととし、日曜日・祝日は
休工日とする。最終的な工程については別途協議の上決定するものとする。

作業時間は午前 9：00 から午後 18：00 とする。

入居者都合等で変更が生じる場合は事前に監督職員と打ち合わせを行うこと。

(2) 工事に必要な資材の仮置きスペースは 1 F 会議室（有効スペース：W4600*D4100

程度)とし、一括納品は不可とする。工事に必要な資材は 1F 会議室を使用しながら 打合せの上 各施工工程に合わせて納入すること。

- (3) 工事期間中は、現場代理人を常駐させること。
- (4) 仕様書、図面及び現場において不明な点は、監督職員と協議のうえ行うこと。
また、図面等に記載されていない事項でも、施工上・完成上当然必要と認められるものは請負金額に含むものとして施工すること。
- (5) 工事に使用する材料・工法等は、あらかじめ承認図を提出し、監督職員の承認を受けた後施工すること。
- (6) 工事施工にあたっては、養生を十分に行い、既存建物及び設備に汚損・損傷等のないようにすること。汚損又は損傷した場合は、既存にならない完全に復旧すること。
- (7) 残材等発生材は、すべて場外搬出処分とすること。
- (8) 各室 完成写真を撮影の上提出のこと。
- (9) 施工図及び工事完成図を作成のうえ提出すること。
- (10) 工事完成後は、試験調整及び後片付け清掃を行い、監督職員の検査を受けこれに合格すること。
- (11) 工事は4床室は3日以内、2床室は2日以内を目安とし、工事期間内で完成させること。

7. 商品仕様

(1) フレーム工事

別紙の設計図書に従い工事を行うこと。

但し、居室条件により設計図書通りに施工が難しい場合は法人と協議確認のうえ工事を進めること。また、束のピッチは居室の天井条件により適宜施設の了解を得て、十分に耐えられる施工を行うこと。

① 規格

1. 上部フレーム：115mm×25mm
2. 束部：75mm角

② 材質

アルミ

(2) 移動式間仕切：立川ブランド工業 プレイス相当品

別紙の設計図書に従い工事を行うこと。

但し、居室条件により設計図書通りの施工が難しい場合は法人と協議確認のうえ工事を進めること。

① 規格

別紙の設計図書を参考とし現地検証を必要なものとする。

② 材質・構造

別紙の間仕切詳細図を参考とし、下記の仕様を満たしていること

1. フレームはポリオレフィンシート貼りアルミ押出し型材とする
2. 採光窓はポリカーネイト製フロスト調3mm厚とし 割れにくく安全性が高いこと
3. パネルはポリオレフィンシート貼りMDFであり 厚さ5.5mm以上であること
4. 丸落しは樹脂成形品とし パネルに組み込まれ、各パネルが固定できること
5. 下ガイドは樹脂成形品とし パネルの横揺れを防止できること
6. フラットガイドレールはアルミ押出し型材とし 段差は3mmとする

(3) 収納付間仕切設置工事

別紙の設計図書に従い工事を行うこと。

但し、居室条件により設計図書通りの施工が難しい場合は法人と協議確認のうえ工事を進めること。

① 規格

別紙の収納付間仕切 詳細図を参考とし現地検証を必要なものとする。

② 材質

1. 表面材：MDF シート貼り仕上げ
2. 天板：メラミン化粧板
3. 外側：ポリエステル樹脂化粧合板
4. 内側：プリント紙化粧合板
5. 小口：ABS樹脂・塩ビテープ

③ 構造

別紙の収納付間仕切 詳細図を遵守し 仕様を満たさない場合事前に図面・材質サンプルなどを提示の上 承認を得ること。

1. 収納部本体は床固定を行うこと
2. 壁との隙間が発生した場合は隙間塞ぎを取付すること。

(4) 間仕切工事

別紙の設計図書に従い工事を行うこと。

但し、居室条件により設計図書通りの施工が難しい場合は法人と協議確認のうえ工事を進めること。

① 規格

別紙の設計図書を参考とし現地検証を必要なものとする。

② 材質

1. 天レール 材質：スチール t 0.8、仕上げ：樹脂焼付塗装、カラー：SW-90
2. 巾木 材質：スチール t1.0、仕上げ：樹脂焼付塗装、カラー：SW-90
3. 支柱 材質：スチール t1.2、仕上げ：樹脂焼付塗装、カラー：SW-90
4. パネル表面板 材質：スチール t0.5、カラー：SW-90
5. パネル裏打材 材質：石膏ボード t 12.5
6. 腰上ガラス 材質：アクリル コモガラス DFA2 P

以上